

編集後記

本誌5巻1号も諸先生方のご協力を得て、恙無く出版の運びになり、編集委員一同その責任を果たしたことに安堵しております。この学会誌は本学の学科の数でもお分かりのように、福祉・医療・科学・技術・人文などなどバラエティーに富み、多岐にわたる学問文野から興味深いご論文を投稿して下さるので、各号を重層的に読み合わせていけば多彩な学際的雰囲気に触れることが出来ます。これは他大学には見られない本学会誌の特色だと思います。しかし一方では論文形式もバラエティーに富み、施註にも微妙な差異が見られ、編集委員会で論議のあるところでは、それぞれ所属学会の学会誌の規定にこだわられる心理は十分理解できるのですが、“When in Rome do as the Roman do”の諺にもありますように、本学会誌の諸規定に則り、出来るだけ論文形式の統一にご助力下さいますようにと委員会では願っております。

諸先生方にとって研究・論文執筆のプロセスは時間に縛られた過酷な作業であり、大学人の宿命的苦業とも言えます。しかし活字になったときの喜びと充実感を思い今後ともご論文の投稿をよろしくお願い致します。

加えて今回から欧文のジャーナル“Kawasaki Journal of Medical Welfare”がスタートすることになりました。こちらにもこぞってご投稿下さいますように重ねてお願い致します。

最後になりましたが、ご論文を投稿して下さいました先生方、貴重な時間を査読に割いて下さいました先生方に編集委員一同心から御礼申し上げます。

編集委員 橘 智子